

# 衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 30. 5. 22 第 196 回国会第 21 号

5 月 22 日（火）、第 21 回の委員会が開かれました。

## 1 働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律案（内閣提出第 63 号）

労働基準法等の一部を改正する法律案（西村智奈美君外 2 名提出、衆法第 17 号）

雇用対策法の一部を改正する法律案（岡本充功君外 4 名提出、衆法第 14 号）

労働基準法の一部を改正する法律案（岡本充功君外 4 名提出、衆法第 15 号）

労働契約法の一部を改正する法律案（岡本充功君外 4 名提出、衆法第 16 号）

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）株式会社日本総合研究所理事

日本労働組合総連合会会長

全国過労死を考える家族の会代表世話人

一般社団法人日本経済団体連合会労働法制本部長

全国労働組合総連合副議長

働くもののいのちと健康を守る全国センター事務局長

法政大学経済学部教授

山田久君

神津里季生君

寺西笑子君

輪島忍君

岩橋祐治君

小黒一正君

（質疑者及び主な質疑内容）

### 山田美樹君（自民）

- ・内閣提出案について、高度プロフェッショナル制度は多様な働き方を認め成果を評価するという制度の趣旨に沿ったものとなっているか、また、制度の悪用を防ぐための十分な措置は盛り込まれているか、山田参考人に伺いたい。
- ・個人の成果を客観的に評価する人事給与システムを先行して導入している企業の例と、産業界全体としてどのような人事給与システムの導入が理想と考えるか、輪島参考人に伺いたい。
- ・全ての労働者が活躍するための多様な働き方の将来像について山田参考人に、そのための産業界の今後の取組について輪島参考人に伺いたい。

### 長谷川嘉一君（立憲）

- ・高度プロフェッショナル制度については、年収要件が引き下げられる可能性や、労働者が同意を拒否することが難しいことなど、様々な問題があると考えますが、神津参考人と寺西参考人に見解を伺いたい。
- ・労働基準法等改正案（立憲案）では、時間外労働の上限を単月 80 時間未満としているが、寺西参考人の見解を伺いたい。
- ・労働基準法等改正案（立憲案）では、自動車運転業務における時間外労働の上限規制について、5 年間の適用猶予後には一般の労働者と同じ規制を適用することとして

いるが、神津参考人の見解を伺いたい。

### 山井和則君（国民）

- ・全国過労死を考える家族の会が厚生労働大臣に面会し高度プロフェッショナル制度創設の削除を要請したにもかかわらず、厚生労働省が作成した資料から同要請部分が削除されたことについて、寺西参考人の所見を伺いたい。
- ・高度プロフェッショナル制度の問題点について、神津参考人に伺いたい。
- ・医師や教員の過労死等防止対策が先送りになっていることに対する神津参考人の所見を伺いたい。

### 中野洋昌君（公明）

- ・時間外労働の上限規制を内閣提出案に盛り込むことができた意義と更なる時間外労働の削減に向けた取組の必要性について、神津参考人及び輪島参考人に伺いたい。
- ・インターバル規制の重要性と普及促進策について、山田参考人に伺いたい。
- ・下請取引適正化など社会全体で働き方改革を進める必要性やその進め方について、山田参考人、神津参考人及び輪島参考人の所見を伺いたい。

## 高橋千鶴子君（共産）

- ・高度プロフェッショナル制度については、多少の修正をしたとしても導入すべきでないと思うが、神津参考人の見解を伺いたい。
- ・高度プロフェッショナル制度に対して、使用者は、成果を高めることと労働時間の短縮のいずれを期待しているのか、輪島参考人に伺いたい。
- ・労働時間の把握については労働基準法に罰則付きの義務規定を設けるべきと考えるが、岩橋参考人の見解を伺いたい。

## 浦野靖人君（維新）

- ・過労死の原因として労働時間以外の原因及び過労死の防止策について、山田参考人、輪島参考人及び小黒参考人の見解を伺いたい。
- ・36協定による時間外労働を廃止することについて、岩橋参考人及び寺西参考人の意見を伺いたい。
- ・自ら希望する者に対しても高度プロフェッショナル制度は認めるべきではないと考えるのか、神津参考人に伺いたい。